

言語コミュニケーションA③④		講義	准教授 原田 桂	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の必修科目		科目ナンバリング	21200107

### 1. 授業のねらい・概要

近年、日本語をクイズ形式で問うテレビ番組が多く見られ、日常的に日本語へ目を向ける機会としては歓迎できるブームであろう。しかし、クイズやゲームに挙げられる「ことわざ」や「漢字」といった語彙だけでは、コミュニケーションを成り立たせるのは難しい。情報化社会である現代においては、正確かつ確実に用件を文章化する能力が必要不可欠である。この授業では、論理的に物事をとらえ、明確に表現するための基礎をベースに「読み手」「書き手」の言語表現を考えていきたい。さらに、取り上げた文章を通して基礎的な日本語表現を確認しつつ、その背後にある構造やテーマを論理的な思考を用いて、自らの文章により表現できるようにする。

### 2. 授業の進め方

「読む」「書く」ことを主体とし、様々な文章（小説・詩・エッセイ・研究論文・新聞等）を通して、問題点を指摘する方法で授業を進めていく。また文章だけではなく、媒体の違った表現を文章化するなど、それを他者へ正確に伝える能力を身に付けたい。さらに基礎的な文章表現のルールを確認し、レポートや小論文等、目的に合わせたコミュニケーションの形式を実践すべく、プリントを用いて学習する。なお漢字検定、文章読解・作成能力検定（準2級・2級）など各種検定の紹介も兼ねて、小テストを毎時（10分程度）行う。

### 3. 授業計画

1. 【概論①】「言語」とは何か？ 「悪文」とは何か？	9. 【構文④】オブラート（配慮）表現・やさしい表現
2. 【概論②】「ことば」で表現すること	10. 【レポートのルール①】メモの取り方・問題提起
3. 【構文①】直接話法と間接話法	11. 【レポートのルール②】構成の基本
4. 【構文②】話しことばと書きことば	12. 【レポートのルール③】引用の表記
5. 【構文③】オノマトペの効果と修辞法（比喩）	13. 【レポートのルール④】出典・参考文献
6. 【図化⇔文章化①】（表示と表現）（説明と描写）	14. 【読解と要約①】要約のポイント・練習問題
7. 【図化⇔文章化②】（事実と意見）	15. 【読解と要約②】要約文実践・社説
8. 【図化⇔文章化③】表・図・グラフの作成	

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎時小テストを行うので、事前に配布したプリントの範囲の予習に30分以上、また配布物が多いためプリント類の整理をしながら復習するのに1時間は必要である。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

添削、講評した課題や提出物などは、その都度返却し解説する。また、復習と定着に役立つよう無記名にして様々な解答パターンを授業内で紹介する他、ミニツペーパーやGoogle Formsで提出したコメント類も集計し配布する。

### 6. 授業における学修の到達目標

- ・基礎的な文章表現のルールをしっかりと確認し、他者へ正確に伝える能力を身に付ける。
- ・様々な言語表現を通して背後にあるテーマや構造を理解し、それを文章で表現できるようになることを目指す。

### 7. 成績評価の方法・基準

定期試験（50%）提出物（30%）小テスト（10%）授業での発言及び取り組み姿勢等（10%）とする。

### 8. テキスト・参考文献

毎時プリントを配布する。参考文献は適宜紹介する。

**9. 受講上の留意事項**

すぐに生成 AI や検索エンジン及びツールに頼るのではなく、自己の思考を大切にすること。

**10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無**

該当しない。

**11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連**

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。